

5. 保津川かわまちづくりの方向性

保津川かわまちづくりの基本的方向

かわとまちの特性

◎かわの特性

- ・古くから今日まで地域の暮らしと発展を支え続けてきた
農業利水、筏流し、保津川開削、舟運
- ・度重なる水害との戦いの歴史の上に今日がある
内膳堤防、日吉ダム、河川改修
- ・良好な水質とアユモドキに代表される豊かな自然環境を有する
多種多様な動植物
- ・まちなかの貴重なオープンスペースとして、様々な河川利用が行われている
保津川下り、運動公園、花火大会、地域のイベント、カヌー等々

◎まちの特性

- ・京阪神に近く、快適で暮らしやすき住宅都市の魅力
- ・保津川沿川は広大な農地が広がる田園都市の魅力
- ・城下町としての風情を残し、多くの歴史的資源を有する歴史文化都市の魅力
- ・新しいまちづくり等の魅力
駅北地区区画整理事業、水端農園プラン、JR山陰本線複線化

基本的方向性(案)

かわとまちを
“むすぶ”

かわの魅力をいかし、まちが
“にぎわう”

かわの自然、まちの歴史文化に
“ふれあう”

かわまちづくりの基本的な方向性 1

桂川は「保津川」という呼び名で親しまれる一方で、これまで幾たびとなく氾濫を繰り返すなど、沿川の人々の暮らしと深く関わり続けてきたところであるが、治水対策やまちづくりが進展してきた今、改めてかわとまちのより良い関わりを結んでいくための「かわまちづくり」を進める。

かわとまちを“むすぶ”かわまちづくり

- かわとまちの接点となる整備
- まちの資源を活かした観光ネットワーク
- 川の楽しさ、恐ろしさを伝える情報の発信



河川情報発信、誘導・案内

ネットワーク動線

水辺公園・遊歩道

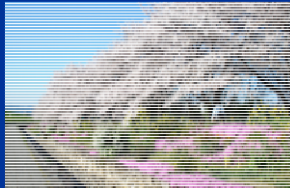
かわまちづくりの基本的な方向性 2

保津川の流れる亀岡地域は京阪神地域からのアクセスに優れるとともに水と緑の豊かな自然や、湯ノ花温泉、トロッコ列車、保津川下りをはじめとする多くの観光資源があり、訪れる人々も年間220万人にのぼっている。これらの資源と連携しつつ、川を活かしたさらなるまちの魅力の創出を図り、にぎわいのある「かわまちづくり」を進める。

かわの魅力を活かしてまちが
“にぎわう” かわまちづくり

○保津川のシンボルの創出

○観光拠点



桜づつみ、松並木



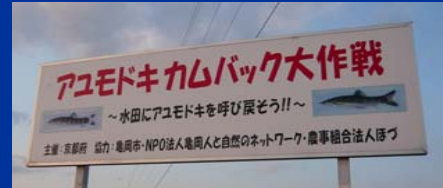
河川観光利用拠点

かわまちづくりの基本的な方向性 3

保津川は、古くから沿川の田畑を潤し、保津峡開削によって多くの物資を丹波から京都に運ぶ重要な役割を担ってきた。今日では、沿川の広大な農地への用水の供給とともに、都市の中の貴重な水と緑の自然空間として、また、多くの生き物の生息環境として重要な役割を果たしている。このような保津川の恵まれた自然や、沿川の優れた歴史文化にふれあうことのできる「かわまちづくり」を進める。

かわの自然、まちの歴史と文化に “ふれあう” かわまちづくり

- 川の自然を感じふれあう場
- アコモドキをはじめ、多くの生物の生息環境の保全再生
- 人と川との関わりの歴史を伝える



生態系の保全・再生



環境学習の場



船着き場の復元